

水道事業会計 [上下水道部 水道課 所管]

1. 概要

水道施設は、浄水場2箇所（岩井浄水場（鶴戸）・猿島浄水場（山））と配水場2箇所（神田山配水場・駒跣配水場）があります。水源としては、岩井地域5本、猿島地域4本、計9本の井戸より汲み上げた地下水系用水と、茨城県企業局県西広域水道用水供給事業から受水（購入）した表流水系用水を単独または、混合して各世帯に供給しています。

令和2年度においては、引き続き地下水系用水と表流水系用水を併用して水源の確保を図るとともに、施設の定期的な維持管理を図り水道水の安定供給に努めます。各施設・水道管ともに老朽化が進み、大規模更新のための巨額の費用が必要な一方、人口減による給水収益の減少が見込まれる中で、健全な経営を継続し経営基盤の強化を図る方策を検討し、今後も持続可能な水道事業の運営に努めます。

主な事業としては、配水管布設工事を実施し、管網の整備充実を図ります。

2. 収益的収入及び支出

(収入)

(単位:千円、%)

款	項	令和2年度		令和元年度		増減額	増減率
			構成比		構成比		
水道事業収益		1,301,606	100.0	1,269,550	100.0	32,056	2.5
	営業収益	1,149,347	88.3	1,138,174	89.7	11,173	1.0
	営業外収益	152,259	11.7	131,376	10.3	20,883	15.9

(支出)

(単位:千円、%)

款	項	令和2年度		令和元年度		増減額	増減率
			構成比		構成比		
水道事業費		1,250,525	100.0	1,245,910	100.0	4,615	0.4
	営業費用	1,162,834	93.0	1,174,401	94.3	△ 11,567	△ 1.0
	営業外費用	79,691	6.4	63,509	5.1	16,182	25.5
	予備費	8,000	0.6	8,000	0.6	0	0.0

3. 資本的収入及び支出

(収入)

(単位:千円、%)

款	項	令和2年度		令和元年度		増減額	増減率
			構成比		構成比		
資本的収入		6,100	100.0	64,100	100.0	△ 58,000	△ 90.5
	負担金	6,100	100.0	6,100	9.5	0	0.0
	× 企業債	0	0.0	50,000	78.0	△ 50,000	皆減
	× 国庫補助金	0	0.0	8,000	12.5	△ 8,000	皆減

(支出)

(単位:千円、%)

款	項	令和2年度		令和元年度		増減額	増減率
			構成比		構成比		
資本的支出		489,542	100.0	473,509	100.0	16,033	3.4
	建設改良費	262,404	53.6	262,946	55.5	△ 542	△ 0.2
	企業債償還金	224,138	45.8	207,563	43.9	16,575	8.0
	予備費	3,000	0.6	3,000	0.6	0	0.0

○原水及び浄水費 (010101) 532,799 千円 (550,250 千円) 予算書 P336

(水道事業収益: 532,799 千円)

(目的及び期待する効果)

市内9箇所の井戸から原水を汲み上げ、浄水場にて浄水して供給するとともに、県西広域水道用水供給事業からの水道水を受水(購入)することにより、水源の確保と安全な水道水の供給を図ります。

(内容)

給水戸数 17,310 戸、日平均 11,906 m³の供給水量を確保するため、県西広域水道用水供給事業より日平均 8,400 m³の受水(購入)を受けるほか、浄水施設等の運転管理の委託費及び維持補修等の経費を計上するとともに、水道水の安全性確保のため水道法の定める水質検査を定期的に実施します。

・委託料	水質検査他委託	1,928 千円
	浄水場等施設管理委託	46,200 千円
	ポンプ設備点検委託	4,455 千円
	工業計器点検整備委託	2,594 千円
・修繕費	工業計器修繕工事	4,510 千円
	ポンプ盤修繕工事	1,958 千円
	1号逆洗ポンプ修繕工事	1,540 千円
	PAC注入ポンプ配管修繕工事	743 千円
	次亜注入設備修繕工事	1,815 千円
・受水費	基本料金 (契約水量 8,400 m ³ × 1,850 円 × 12 ヶ月 × 税)	205,128 千円
	使用料金 (使用日量 8,400 m ³ × 61 円 × 365 日 × 税)	205,729 千円

○配水及び給水費 (010102) 111,142 千円 (95,413 千円) 予算書 P336

〈水道事業収益：111,142 千円〉

* 特定財源積算根拠

- ・ 消火栓維持管理負担金 5,400,000 円

(目的及び期待する効果)

浄水施設で浄水した水道水及び県西広域水道用水供給事業より受水した水道水を供給するために、配水池、配水ポンプ、配水管等の設備をもって安定した水道水の供給を図ります。

(内容)

配水施設の維持管理・修繕等に要する経費、計量法に定める量水器交換に要する経費等を計上するとともに、配・給水管の増径工事、老朽管更新に伴う給水管の布設替え工事等を実施します。

・ 委託料	量水器交換委託	4,069 千円
	工業計器点検整備委託	1,881 千円
	ポンプ設備点検委託	1,056 千円
	管路台帳システムデータ更新業務委託	2,717 千円
・ 賃借料	管路台帳システムリース料	5,492 千円
	・ 修繕費	
	量水器修理費	6,261 千円
	漏水・ポンプ・消火栓等修理費	5,082 千円
	メーター設置個所周辺修理	773 千円
	配水ポンプ盤修繕工事	17,710 千円
	境土地改良事務所関係修繕工事	3,099 千円
	配水管・配水小管・給水管修繕工事	6,655 千円
・ 動力費	電力料等	38,013 千円

○総係費 (010104) 116,511 千円 (126,087 千円) 予算書 P337

〈水道事業収益：116,511 千円〉

* 特定財源積算根拠

- ・ 営業外収益：下水道使用料検針徴収業務受託料 22,260 千円

(目的及び期待する効果)

上下水道料金を徴収するための検針及び水道の開閉栓業務や料金の計算管理、企業会計管理業務等、経営に必要な収入を確保し事業運営を図ります。

(内容)

・ 通信運搬費	郵送料等	5,160 千円
・ 委託料	検針等業務委託	27,500 千円
	水道事業会計処理業務委託	8,415 千円
・ 手数料	料金口座振替等手数料	4,573 千円
・ 賃借料	料金・会計システム賃借料等	4,623 千円

○減価償却費 (010105) 388,581 千円 (388,766 千円) 予算書 P338

〈水道事業収益：388,581 千円〉

(目的及び期待する効果)

固定資産の価値減耗についての費用を決定することにより、健全な経営体制を維持します。

(内容)

(償却資産)	(償却費)
建物	13,218 千円
構築物	320,895 千円

機械及び装置	54,186 千円
車輛及び運搬具	136 千円
工具器具及び備品	146 千円

○建設改良費（010101～04） 262,404 千円（262,946 千円） 予算書 P341

〈その他：6,100 千円 過年度分損益勘定留保資金：256,304 千円〉

* 特定財源積算根拠

- ・負担金：消火栓設置負担金 6,100 千円

（目的及び期待する効果）

水道使用者に継続的な給水を提供するため、施設の最適化や改良を図ることにより、いつでも安心して使用できる水道施設を構築します。

（内容）

・ 施設費	配水管布設工事（5,996m）	205,392 千円
	配水小管布設工事（750m）	12,595 千円
・ 委託料	調査設計委託料	7,392 千円
	管路更新事業実施設計委託	6,347 千円
・ 営業設備費	量水器購入費	1,023 千円

○企業債償還金（010201） 224,138 千円（207,563 千円） 予算書 P342

〈過年度分損益勘定留保資金：224,138 千円〉

（目的及び期待する効果）

地方公営企業の建設・改良工事に資するため、企業債を活用することにより計画的な企業運営を図ります。

（内容）

（単位：千円）

区 分	令和元年度末 残高見込額	令和2年度 償還額（元金）	令和2年度中 借入予定額	令和2年度末 残高見込額
上水道事業債	3,349,475	224,138	0	3,125,337

※参考資料

◎上水道普及率の推移

区 分	年 度	平成 30 年度末	令和元年度末 （見込）	令和2年度末 （見込）
計画給水人口		47,530 人	47,530 人	47,530 人
給水区域内人口	(A)	54,273 人	53,991 人	53,709 人
給水人口	(B)	45,758 人	45,745 人	45,753 人
普及率	(C)=(B)/(A)	84.3%	84.7%	85.2%